

きらり 通信

平成28年3月4日（金）発行 第24号

福島県立須賀川養護学校

tel: 0248-76-2511 fax: 0248-72-4729

ホームページ <http://www.sukagawa-sh.fks.ed.jp>

「みんな同じだけ」から「必要な分を」へ

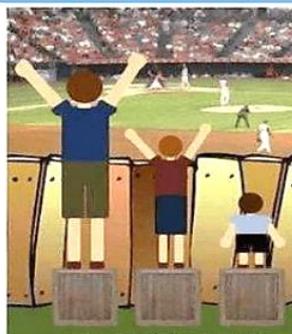
校長 鹿目敦子

平成28年4月1日から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されます。同法は、障がい者を理由とする差別的な取り扱いを禁止するため、行政など公的機関に対して、障がい者への「合理的配慮の不提供の禁止」という形で障がい者に対する支援を義務付けるほか、企業など民間にも努力義務を課すことになっています。平成28年度から、障がいのある子どもに対する支援・配慮が、国公立学校には義務付けられ、私立学校や民間施設などにも努力義務として課せられるようになります。

一人一人のニーズに応じた支援を考えるのは、障がいのあるなしにかかわらず、これからの学校には欠かせないものと考えています。本校地域支援センター「きらり」では、これからも地域の皆様と実践事例を通してつながっていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

教育における「平等」について考えてみましょう。

「平等」のイメージ



全員の子どもに同じ高さの台を「平等に」用意します。その結果、試合が見られない子どもがいます。

「公平」のイメージ



それぞれの子どもに合った高さの台を「公平に」用意します。その結果、全員が試合を見られるようになります。

【まとめ】

台を「配慮」と捉えます。全員に同じ質・量を用意するという意味では、同じ高さの台を用意することが「平等」なのかもしれません。しかし、個々の特別なニーズ（ここでは身長差）には配慮されていません。試合を見ることを「教育のスタート」と捉えると、ここで言う「平等」では共に学ぶことはできません。「公平」な配慮が共に学ぶための「合理的配慮」となります。共生社会においては「公平」の考え方をみんなで共有する必要があります。



（養護教育センターのHPより引用しました）

地域支援センター「きらり」 ～来年度もよろしくお願ひします～

今年度も地域支援センター「きらり」では、以下のような取組を行ってきました。4月から「すべての子どもたちが笑顔で生活できるように」をテーマとし、新しい取組も加えてさらにパワーアップしていきたいと思ひます。来年度もよろしくお願ひいたします。

- 悩みを一緒に考えたり、情報提供を行ったりする教育相談
- 保育園や幼稚園、小学校・中学校・高等学校に伺い指導・支援を一緒に検討する活動
- 研修会や実践講座、授業公開の開催
- 子どもを支える地域の関係者・関係機関との連携



佐藤暁先生を招いての研修会

こんなときどうする？ ～友達と仲良く遊ぼう～

今回は、学習場面や友達関係での望ましい言葉の使い方や行動についてゲームを通して学んでいく活動をご紹介します。昼食の準備に入る前、15分くらいずつ毎日行っています。簡単なゲームを楽しみながら、「こんなときどうする？」カードが出たら、みんなで一緒にクイズを考えます。

クイズは、子供たちの実際の生活場面で、教師が気になったり困ったりしている行動を中心に出题されます。クイズを聞きながら「私のことかも」とドキドキしていることもあるかもしれません。



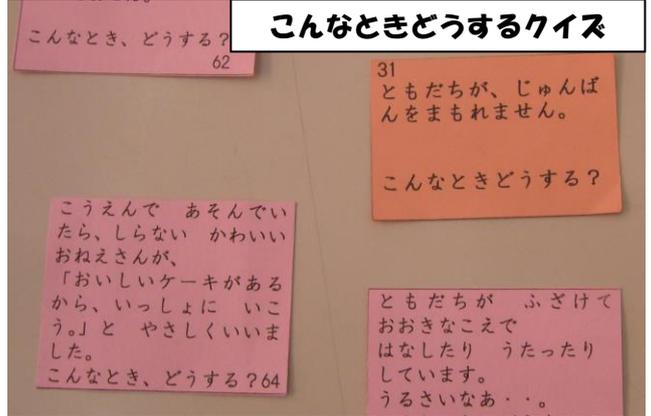
すごろく



カードめくり

時には、ちょっとしたロールプレイをしてみて、相手の気持ちを考えたり確かめたりしながら、望ましい行動について考えていきます。実際の場面では、なかなか冷静に考えられないこともゲームの中でなら落ち着いて考えることができることも多くあります。そして実際の困った場面に出会った時に、「こんなときどうする？」というキーワードを伝えられると学んだことを思い出し、行動を立て直すことができる場面も増えてきています。

日常の中での小さなつまづきや友達を傷つけてしまう言葉に気付き、立場を変えて相手の気持ちにも思いをはせることができるようにと願っています。(文責 佐藤)



学習の様子



☆きらりちゃん日記☆



子どもたちの話し方や口ぐせ、よく考えると自分が言っていたことだったということがあります。何気ないことも子どもたちはよく見てよく聞いているなあと感じます。(大竹)

本の紹介

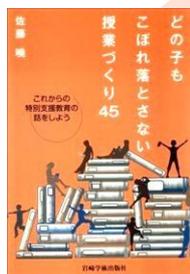
今回は、2月の研修会に講師としてお招きした佐藤暁先生(岡山県立医科大学大学院教授)の著書を中心にをご紹介します。



現在通常学級の6%といわれるLD・ADHD・高機能自閉症の子どもたちが困らないための支援が、イラストや写真で紹介されています。見れば分かる！



学校や家庭で困っている子どもたちへの支援の方法が、なんと2800通りも載っています。子どもたちの過ごしやすい環境づくりに役立つ一冊です。



すべての子どもたちに質の高い教育を…そんな願いが込められた一冊。「学び合い」を中心に、子どもたちが仲間や教材とつながる方法が提案されています。



神経が大人になっても作られていた！という衝撃の発見から15年。iPS細胞を使った脊髄損傷の再生治療が現実…？ 佐藤暁先生おすすめの本です。